

【第2学年】児童の課題及び授業改善策

＜令和2年度＞

	児童の実態	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ◆読書を好む児童は多いが、語彙力が低く、言語への関心を高める必要がある。 ◆自分の経験したことや考えについて話す力や聞く力に個人差がみられる。 ◆言葉を正しく表記することや、句読点を正しく使うことを苦手とする児童への支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書や音読を充実させたり、授業等でも課題が終わってしまった児童には読書を推奨したりするなどし、読書量を今以上に多くし、語彙力を増やしたり読解力を身に付けたりさせたい。 ○ソーシャルディスタンスに配慮しながら小グループ、全体の場等での発表や話し合いをさせる場面を多く設定し、話す力と聞く力を身に付けさせる。 ○ノートやプリントに文を書く活動を多く設定したり、個別支援を繰り返したりすることで、文を正しく書くことの定着を図る。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ◆加法・減法の計算では、繰り返し計算練習に取り組み、全体の底上げを図っていく必要がある。 ◆時刻や時計の読み取ったり、長さの単位換算を正確に行ったりすることが難しい児童がいるため、習得への積み重ねが必要である。 ◆文章題の意味を捉え、筋道を立てて考える力が不足している児童への支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数の基礎・基本を押さえ、繰り返し問題を解いたり、個別指導を行ったりしていくことで正答率の底上げを図る。 ○教科書や東京ベーシック・ドリルなどを繰り返し解き、また家庭学習で既習事項を復習することで、習熟と学力の定着を図る。 ○問題文の大事な言葉に線を引かせて注目させるなど、丁寧に読み取りを行い考えさせるようにする。また、具体物を活用し児童が理解しやすいように工夫を行う。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物や植物に触れる機会が少ないため、昆虫と遊ばせたり、草花に興味をもって世話をさせたりする経験が必要がある。 ◆地域社会の一員であると思う気持ちに課題があり、地域と連携を図りながら支援をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校庭の草木など、学校にある自然環境に触れる機会を多くし、生き物や植物に慣れ親しむ活動を多く取り入れる。 ○学習の中で、自分が地域の一員であると思うことができる場を意図的、計画的に設定し取り組んでいく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ◆リズムや音程などがあいまいになっていることがある。 ◆鍵盤ハーモニカの運指に個人差がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音をよく聴くように指導するとともに階名による模唱やリズム打ちに親しみながら音程感やリズム感を身に付けさせる。 ○児童の実態に応じた個別指導を行い、出来るようになったことを褒めて意欲をさらに高めていく。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ◆のりやはさみなどの用具の使い方に慣れていない児童への手立てが必要である。 ◆自由に描く、作るという課題に対して自分のテーマを決めることが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○用具の扱い方に関する基本的なルールと技能を身に付けさせる。教師が手本を見せ、手順を示すことで安心して取り組めるようにする。 ○児童が楽しみながらイメージを膨らませる教材を準備し、その提示方法を工夫することで関心・意欲を高める。また、友だちの作品を鑑賞し合うことで、より多くの発想ができるように指導を工夫する。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ◆体を動かすことが好きな児童が多いが、すぐに疲れてしまう児童もおり、体力の向上をあらゆる場面で図っていく必要がある。 ◆各種の運動遊びに楽しんで取り組んでいるが、個人の技能に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動遊びの楽しさに触れ、活発に行っていく中で体力を向上していきけるよう活動を工夫する。また、休み時間には外で遊ぶことを促し心身の向上を図っていく。 ○基本的な動きを身に付けさせることができるように、様々な運動遊びを意図的、計画的に取り入れる。